



LPGA 2008 LPGA VIDEO/AUDIO MEDIA CREDENTIAL REGULATIONS

以下の規則は、LPGAによって協賛あるいは認可されたイベントを含むLPGAのイベントへのアクセスとしてLPGAビデオ/オーディオメディアの資格証明を使用する各カメラオペレーター/ブロードキャスターに適用される。

1. 資格&アクセス

- a. LPGAが承認するニュースメディア局/社あるいはLPGAが受け入れるメディア局/社に取材任務のある公認カメラオペレーター/ブロードキャスターは、アクセスを得たLPGAイベントの取材目的のためにLPGAビデオ/オーディオメディア資格証明を受ける資格を有する。LPGAはメディアとして特定の任務を持たないフリーランサーは承認せず独自の判断で誰がLPGA承認か否かを定める。
- b. LPGAイベントの取材を希望する全てのカメラオペレーター/ブロードキャスターは、カメラオペレーター/ブロードキャスター自身及び代表するニュースメディア局/社の編集者が署名したLPGAビデオ/オーディオメディア資格証明の申請書を提出しなければならない。フリーランスのカメラオペレーター/ブロードキャスターは特定のイベントへの取材任務があること、またLPGAビデオ/オーディオメディア資格証明の申請書と共に、取材任務のオリジナル証明書を提出しなければならない。
- c. 申請書に署名することでカメラオペレーター/ブロードキャスターはLPGAビデオ/オーディオメディア資格証明の規則と、映像で報道するニュース取材先の当LPGAのイベントにアクセスするための制限付き非独占的及び譲渡不可のライセンスを受諾し合意する。各カメラオペレーター/ブロードキャスター及び/あるいは事業体によって録音録画されるいかなる放送、配信、フィルム、テープ、写真、ビデオ、オーディオ、データあるいはそのような録音、有形の表現、評価、描写は、現在知られているあるいは今後考案されるものにかかわらず、(総して“ビデオとオーディオ”と称す)これらの規則に支配される、但し、万一上述のカメラオペレーター/ブロードキャスター、及び/あるいは事業体がLPGAイベントに関してLPGAとの別の同意書を有している場合はいかなる対立が起こった場合もその別の同意書の条項が優先される。
- d. さらに、各カメラオペレーター/ブロードキャスターは、LPGAコミュニケーションズ部門を通して入手できる全てのイベントに先駆けてあるいは開催中になされるLPGAによるいかなる修正も含む、LPGAビデオ/オーディオメディア資格証明の規則に従うことに合意する。全てのカメラオペレーター/ブロードキャスターは、出席する各イベントの前にこれらの規則の修正があるかどうかを確認する必要がある。
- e. LPGAビデオ/オーディオメディア資格証明を与えられたカメラオペレーター/ブロードキャスターは、LPGAのイベント開催中、メディアセンター、トーナメントコース、練習場へのアクセスが与えられ得る。各カメラオペレーター/ブロードキャスターは：(i). 準備進行係、ボランティア、トーナメントの職員の指示に従わなければならない、(ii). プレイエリアで歩いたり立ってはいけない、(iii). プレイ中に選手に近づいたり、質問したり、インタビューを要請してはいけない、(iv). 選手がチェックし、署名し、スコアカードを適切な審判官に戻し、スコアリングエリアを離れるまで、9番あるいは18番ホールで選手に近づいてはいけない、(v). いかなる時もスコアリングテントに近づいてはいけない、(vi). 練習中に、チップングあるいはパツティングエリアを歩いたり立ってはいけない。三脚の使用はメディアセンター内のみに限定される。
- f. 試合中はいかなるカメラオペレーター/ブロードキャスターにもロープ内へのアクセスのために腕章が必要である。もしロープ内に入ることを許可された場合、カメラオペレーター/ブロードキャスターはいかなる時でも観客を仕切るロープから(2)フィート(約60センチ)以上離れていることを条件に、上述の場所へのアクセスを許可する腕章が与えられる。アシスタントは全員ロープの外側に残らなければならない。
- g. ゴルフカートはいかなる時も使用が禁止されている。
- h. 試合のプレイが始まる前、選手の都合や同意する意思によるが、予定された記者会見の間に、カメラオペレーター/ブロードキャスターは主力選手及び前回のイベント優勝者にインタビューすることが出来る。他の選手へのインタビューの要請は、LPGAコミュニケーションズのスタッフに渡してもよい。カメラオペレーター/ブロードキャスターは試合の途中で、あるいは選手が最初のティーに近寄っている時には、選手へのインタビューを要求してはならない。全てのインタビューは、選手がスコアリングエリアを離れてプレイが終了した後、あるいはメディアセンターでの予定されたインタビュー時間しか行つてはならない。天候のため長時間遅延になった場合、LPGAコミュニケーションズのスタッフがカメラオペレーター/ブロードキャスターのために、もしまだラウンドを終了していない選手がいれば、その選手とのインタビュー設定を試みる。しかし、選手は自分のラウンドを終了するまでインタビューに応じないかもしれない。なお、LPGAコミュニケーションズのスタッフは、天候遅延の場合、LPGA審判員及び他のイベントスタッフとのインタビューの設定も手伝う。
- i. 各カメラオペレーター/ブロードキャスター及びテレビ、ラジオ及び/あるいはウェブサイトの事業体は、LPGAのイベントからあるいはイベント開催中に発生するいかなる放送、配信、フィルム、テープ、写真、ビデオ(ストーリーミングなど)、オーディオ(ストーリーミングなど)、データ、あるいは上述の録音、有形の表現、評価あるいは描写は、現在知られているあるいは今後考案されるものにかかわらず、LPGAのイベントに関する全ての著作権、知的所有権、利権(これだけに限定されないが、リアルタイムのスコアリングも含む)はLPGAが専有していることを承認する。上述の権利は、当資格証明の発行によって、いかなる人物あるいは事業体のためにも与えられず、与える意図がなされたり、作り出されるということはない。各カメラオペレーター/ブロードキャスター及びテレビ、ラジオ及び/あるいはウェブサイトの事業体は、さらに、既にLPGAに所有されていないというのであれば、各カメラオペレーター/ブロードキャスター及びテレビ、ラジオ及び/あるいはウェブサイトの事業体は、変更不可で独占的に上記の全ての権利をLPGAに指定する。各カメラオペレーター/ブロードキャスター及びテレビ、ラジオ及び/あるいはウェブサイトの事業体は、受領後丁寧迅速な方法で追加の費用をかけることなくLPGAに供給することに合意する。

2008 LPGA VIDEO/AUDIO MEDIA CREDENTIAL REGULATIONS *CONTINUED*

U

f=L

f=L"

V

W

X

CCUbX" <|[[gQ

f' , *L &+(!* &+&

U

V

f] L"

f]] L"